

第 13 回日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）の結果概要

令和 3 年 1 2 月 1 日

原子力規制庁

- 令和 3 年 1 1 月 3 0 日（火）及び 1 2 月 1 日（水）の日程で、第 1 3 回日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）をオンライン会議にて開催した。
- 中国の生態環境部・国家核安全局（MEE/NNSA）、韓国の原子力安全委員会（NSSC）及び両国の技術支援機関の専門家が出席した。
- 会合では、伴委員が議長を務め、日中韓の原子力規制機関の取り組みについて情報交換を行ったほか、日本からは東京電力福島第一原子力発電所の状況に関して情報提供を行った。

（参考）日中韓原子力安全上級規制者会合（Top Regulators' Meeting on Nuclear Safety、略称 TRM）は、日本、中国、韓国の原子力規制機関の幹部職員が原子力安全に関する共通課題や技術向上のための有益な情報を共有し、原子力安全の向上と地域協力の強化を図ることを目的とした枠組み。2008 年に設置されて以来、毎年 1 回持ち回りで開催。今回は第 1 3 回の会合。

以上